





月十七日に帰国する予定。

### ★今日の造形活動の動きに注目。



はたちのお嬢さんに囲まれて

戸市立体育館で開かれて、

さつそく紋付羽織袴でさつ

そうと登場。振袖姿の二十

歳のジャバニーズガールに

閉まれて思わずにつくり。

### ★ニースのお祭りに

獅子舞いと灘の酒が参加

毎年世界各国から参加する

フランスのニースカーニバル。

今年は「世界の味」がテ

ル。今年は四度目になるが、今回参加

するのは、クイーン神戸、

市民祭協会代表、灘の酒大

関、椰神社の獅子舞いなど

総勢約五十名の「祭りの親

善使節」で、一行は二月四

日に出発し、五日の花を投げ合う「花合戦パレード」

を皮切りに、ニースに集まる

世界各国の人々にダイナ

ミックで莊厳な椰神社の獅子舞いと灘の酒大関とを披露する。一行は、ニースのあ

とパリなどの観光を経て二

単位取得者には名譽ある



アートナウ'75より  
作品／植松奎二



なくなった三菱ホームコーナー

H大学の卒業証書とHのHの

の巻を授与する。受講資格

は18歳以上でHであるこ

と。授業料前期分六千円を

ト・ナウ'75が今年は一月

五八号まで納めて下さい。

神戸中央郵便局私書箱一一

連絡先(二四)・八〇八〇レモンク

ラブ事務局

★惜しまれる三菱ホーム

コニー画廊の閉鎖

昭和四十年十月一日さん

わからぬが、作家達の主

張の中に、新時代への兆し

が潜んでいることは事実。

奇妙だとか、わからないと

か想像は様々だけど現代美

術の新しい流れと方向とを

展望する意味でも、毎年、

新年早々行なわれるこの展

覧会は楽しみである。

■Hなあなたに教えます

最近急増しているH人口

に正統なH教育を施すべく

通信教育講座(H大学)がこ

の二月一日、Hおじさんを

コニーとガス会社ショ

ワ協会一周年記念展」が

開かれ、美しいいろいろの

造花が咲いた。改造後は同

## 美術ガイド



★大丸百貨店四階美術画廊／

高級茶道具展／

横岡芦平大津絵新作展／

油芸品・工芸品バザール／

恒例京の中古家具市／

さんちか文化教室発表会／

神戸市小学校園工展／

第20回神戸二紀展／

神戸デザイナー学院卒業展／

兵庫県独立美術協会小品展／

第20回神戸二紀展／

神戸の散歩道／竹内広光個展／

花など二百四十八回の作品展が催された。最後の作品

展は、今までお世話になつたお札をこめて「神戸フラン

ワ協会一周年記念展」が

開かれ、美しいいろいろの

造花が咲いた。改造後は同

コニーとガス会社ショ

ワ協会一周年記念展」が

開かれ、美しいいろいろの

造花が咲いた。改造後は同

コニーとガス会社ショ

ワ協会一周年記念展」が

★KCCギャラリー／

武庫川女子大学写真部展／

神戸新聞作品展／デイリースポーツ／

合同作品展／

松井香織アート展／

明石短期大学インテリア建築デザイナーアート展／

インコース制作展／

山本隆入洋画展／

聖ラファエロ幼稚園児作品展／

トアロード画廊／

堀尾貞治個展／

★ギャラリー新光

朝鮮古陶器第三部秀逸展／

聖ラファエロ幼稚園児作品展／

トアロード画廊／

15歳児作品展／

2歳児作品展／

2歳児作品展／

2歳児作品展／

21歳児作品展／

2歳児作品展／

ルームとが広場になり、神戸っ子のコミュニティの場がまたひとつふえそう。

### ★世界の指揮者たちの芸術に感動の著

音楽評論家の小石忠男さん（垂水区在住）の著による「世界の名指揮者たち」が音楽之友社から刊行された。

「レコード芸術」誌に連載されている「世界の指揮者

——人と芸術」から十六篇

を選んで集めたものでカラヤン、小沢征爾と国際的に活躍する指揮者十六名がと

り、金春、観世、宝生、金剛、喜多のシテ方五流儀といふ意味である。

この五流が一堂に集う



小石忠男さん

りあげられている。その人と芸術をレコードばかりではなく生演奏の体験を通じて解明し、その芸術の響きが伝わってくるよう、世界の指揮者たちのいかに芸術性が高いかがわかる。

世界の名指揮者／小石忠男著

音楽之友社発行三一六頁二二〇円

★明石と垂水の歴史は二億五千年から始まる

自動車評論家として、ま

た郷土史家として活躍の川口陽之さん（垂水区在住）がこんど「垂水と明石の史跡——赤石のくに」を出版された。本書は郷土史誌としては「垂水の史跡」「A HISTORY OF TARU MI」（英文版）に続いて六冊目になる。内容は二億五

冊目になる。内容は二億五



「赤石のくに」

## KOBE POST

★画家の鶴居玲さん（新年末スペイントから帰國、新春を神戸で迎えて一月十六日にパリへ旅立たれました。五月二十八日から約二週間、ニヨーヨークのハーマンギャラリーでの個展が決定。

★神戸労音が創設二十四年にビリオドを打ち、昨年十二月一日から

「神戸音楽友の会」とし、入会金を廃止。年間会費制度を取り入れ再スタート。

委員長山本正信副委員長生駒洋二、田畠昭二、寺井昭子事務局長柴田隆弘の皆さん。なお住所表示が変更。丁印神戸市芦合区御幸通八丁目一番六号神戸国際会館4F ☎

三四一三四八五★メゾンドミュージック「音楽の家」の堀郁子さん

が移転したとお知らせがありました。丁印神戸市生田区江戸町10-26メガロコープII號号（七九八）

共生興スカイマンション6階廊号（七九八）二二一—一〇六九六

★照明家の林昭介さん（新住所は、神戸市須磨区衣摺町3丁目1/26丁印）（七九八）七三一—一七七〇九

★バレリーナの上月倫子さんが、

2月10日東京文京公会堂で小林恭

バレエ団の公演によるE・プロンチ作「魔ヶ丘」に桃子さんらと共に出演されます。

★ティールセン・ゆかりさん（下大路由佳）に、アレキサンダー・

テールゼン君二世誕生。おめでとう。

新規早々に神戸文化ホールで期待の五流能がひらかれた。能楽の五流というのをご存知のとおり、金春、観世、宝生、金剛、喜多のシテ方五流儀といふ意味である。

それは別としても、現

て、五流の家元が立会い、能が勤仕されてきたのである。その伝統はいまま脈々と続いており、その薪能はいろいろな形で各地で催されるようになつたのである。

順一「高砂」を金剛巖

「楊貴妃」は観世宗家。

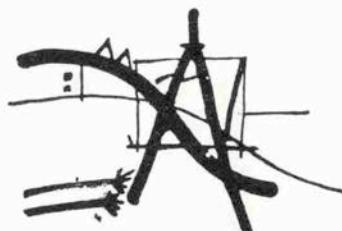
「小鍛冶」を喜多長世といふ意味である。

豪華なメンバーハウスの能である。ぜひとも、この能が

西日本を代表する五流能として育つてほしいものだ。

（Y）

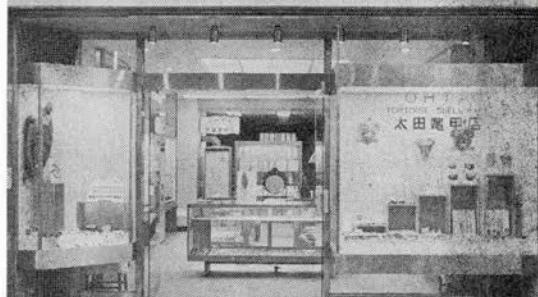
額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



末積製額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
331-1309・6243

太田鼈甲店



べっ甲美術品とアクセサリーの専門店

太田鼈甲店

元町1丁目 TEL(331)6195

KOBE SHOPPING GUIDE



ハイセンスの紳士服で最高のおしゃれを！

三恵洋服店

元町4丁目 TEL(341)7290

三宮センター店

3階 レストラン

2階 喫茶・パーラー

1階 洋菓子  
アイスクリーム

地階 喫茶室

皆様そろってぜひご利用  
下さいませ

北欧の銘菓



ユーハイム・コンフェクト

■本社・工場・熊内店 神戸市垂水区熊内町1の8(市立美術館東隣) TEL 221-1164

■三宮センター街本店 神戸三宮センター街(洋菓子・喫茶・レストラン) TEL 331-2421

高級紳士服専門店

## 神戸テーラー



さんちかメンズタウン TEL (391)0388  
生田区北長狭通2(阪急西口) TEL (331)2817・3173

でんわ・  
321 321 331  
一〇六三七七一  
六三三四  
五

コベミサシ

やつぱりうまい  
むさしのとんかつ

## KOBE SHOPPING GUIDE

おすし  
てんぶら



榮  
浦



本店

大丸前・三宮  
神社東

TEL (331) 5677  
(毎週水曜日休み)

支店

さんちか味のれん街  
(第3水曜日休み)  
TEL (391) 5233  
TEL (391) 5333

営業時間  
A.M.11.30～P.M.9.00

はっぴい結婚式はオリエンタルホテルで



オリエンタルホテル  
TEL. 331-8111

六甲オリエンタルホテル  
TEL. 891-0333

# まだ遅くない

葉月一郎

え・小西保文(題字も)

## 青い焰

その救急病院は、湊川公園の西寄りにあった。

薬のにおい、血のにおい。病院独特的体臭が全く意識に上らぬほど興奮しているのに戸波自身は気付いていない。

処置室が、廊下の突き当たりにみえた。「手術中」の赤いランプが眼に飛びこむ。めざとくみつけたとみえて、松岡記者が早足で近づいてきた。

「お、松ちゃん。容態はどうや」

「いま、手術中です」

「で、けがの程度は……」

「それがですね、脳底骨折らしいです。医者は、首をひ

ねつてましたが……」

「ダメかもしれない、ということか」

「え、まあ……」

手術室に横たわっている堂本俊夫という人物と、戸波

(あらすじ) 神戸に君臨する大企業、兵庫製鉄(兵鉄)の公書をなくすため毎朝新聞神戸支局がキャンペーン企画、取材をすすめていた。昭和四十五年秋のことだ。たまたま醉客からまれているところを助けてやった兵鉄秘書課の細川亞紀子と親しくなり、亞紀子は会社首脳の新聞対策などを戸波に知らせて協力する。兵鉄の和久井社長らとの会見も実現するが、社長らは高姿勢の答弁を繰り返す。花房総務部長を中心に戸波に配属換えをする。また亞紀子を工場勤務に配置換えする。かつて戸波の書いた記事のために職場を追われた堂本俊夫という男が交通事故に遭う。家族は「毎朝新聞には口をきかん」と取材拒否をしたが……

とが、どんな関係にあるのか、新聞記者らしい好奇心を表情いっぱいにみなぎらせて、松岡がのぞきこむ。しかし、それをよみとるほどの余裕が戸波はない。

「で、遺族の、いや、家族の人たちはいま、どこに……」

「あ、あそここの長椅子に……」

処置室前の廊下にある椅子を、松岡は眼で示した。

「あの右端で、和服を着て、うつむいているのが奥さん



です。その横に立っている、ホラ、いまこちら見てる若い女性が、一番上の娘さんらしいのですけど」

「らしいっていうのは……」

「いや、あの娘さん、電話で報告したように、ボクが毎朝新聞だといつたら、何も話してくれなくって……。だから、他社の記者に聞いたんです。そしたら、長女で「しのぶ」って名前だということですけど——」

「……」

「高校出て、この春から、会社へ勤めに出てるそうです」

そのことばを途中で遮って、戸波はゆっくりと母娘の方へ足を運んでいた。

松岡と話をはじめたときから、娘の視線がピシャリと戸波をとらえたまま離れようとしないのに気付いていた。その視線に誘いこまれるように、足がひとりでに動き出した、といった方がいいのかもしれない。

娘は、みじろぎもせずに、待ち受けていた。

濃く、ふとい眉は、明らかに父親譲りなのだろう、その眉が、かすかに動いて、化粧けのない口元から言葉が噴き出してきた。

「あなた、戸波さんね」

「戸波です」

同時に、いった。

額にかかる前髪を、はねのけるようにして娘——しのぶは言葉をつづけた。

「父を、こんな目にあわせたのは、あなたよ。あなたなのよ」

「……」

「あなたの記事のおかげで、父は、前の会社、クビになつたわ。そして、いまの、工務店に変わったのよ」

「就職は、私の方でも……」

「冗談じゃない。新聞社なんかに、世話をもらうことないわよ。そんなことで、帳消しになるなんて、甘ったれないのでよ」

「……」

「あなたの記事のおかげで、父は、前の会社、クビになつたわ。そして、いまの、工務店に変わったのよ」

「就職は、私の方でも……」

「冗談じゃない。新聞社なんかに、世話をもらうことないわよ。そんなことで、帳消しになるなんて、甘ったれないのでよ」

「いまの新しい仕事、とても疲れるつていってたわ。第一、前くらいの給料とろうと思ったら、二日に一度は残業しないとダメだし……」

平手打ちのような科白が、マシン・ガンのように飛び出していく。

「そうよ。きょうだつて、二、三日前からカゼひいていたから、ちょっと、しんどいナといながら出かけていたのよ。そしたら、とうとう……」

ふとい眉の下の、黒目がちな瞳から、いまにも涙がこぼれそうにあふれかけている。

それを圧し殺すようにキュッと短かく唇をかむと、しおぶは腹の底から声をしぼり出した。

「事故に遭わせたのは、あなたよ。前の会社へ……報徳工業さえ行っていたら、残業しなくともいいし、あんな危ない道、通らなくて済んだし、カゼひいて休んでも給料かわらないし……。だから、あなたよ。あなたが父をあんなひどい目に遭わせたんやわ」

瞼から涙は引いていた。かわりに、むき出しの憎悪が放射している。それは、まるで青い煙のようにメラメラと熱を帯びて燃えた。

この娘の怒りが、わからないではない。おそらく失業から再就職にいたる間、いや新しい仕事についてからも事あるたびに家族の間で問題になつたのだろう。

(これというのも、みな、あの新聞記事のせいや)

平穏な歳月のなかで、ささやかな給料の増加や子ども成長を喜びとする、そういった日常性が、この一家を優しく包んでいたに違いない。

まじめな勤務のあけくれを突然破つた一片の新聞記事。それは、書いた側の想像を超えた怒りを呼んだのだ

う。

戸波にも言い分はある。

労働事件で逮捕されたと報じた容疑者——被告が五年越しに無罪判決をかちとつた。それを書くのは義務であり、被告の喜びにも通じるはずはないか——これが、

のがある。「いいがかりだ」と斬り捨てられるほど、戸波の気持は明快ではない。

「申しわけありません」

眼を伏せて、頭を垂れた。

この娘と、ここで議論をするほど戸波は若くない。けれども、謝つたりをして、この場をやりすごしてしまってほど老齢でもない。それなら、はじめから病院へやつてこなかつたはずだ。

とりあえず、堂本一家の怒りの集中砲火を浴びる場所へ身を置くことで、いくぶんでも一家の気持がおさまれば——という願いがあったのは事実である。

しのぶは、何かいおうとして言葉にならないいらだちを幼い顔にみなぎらせた。

祈るように、うつむいたきりだった母親が、その娘の袖を押さえるようにつかんでいる。もう何もいいうな、と訴えかけているような表情だ。

「あやまつてもらつて、済むことやないわ」

その声は、先ほどより鋭さを失っていた。

「いや、僕も、そう思っています。これからも、できるだけのことはさせて頂きますから……」

心の底のどこかで（そんなに詫びなくとも）という声がする。

しかし、一方では錐で刺すような痛みが戸波の意識をさいなんんでいるような……。

あのときの判断だった。  
結果は、しかし「失業」という意外な事態を招いた。  
そしていま、交通事故の被害者の立場へと追いつめられている。  
失業も事故も、あの記事のせいだ、という論理は、いささか誇張であり、いいがかりともいえる。少なくともその全責任を負わねばならぬ筋合のものではない。  
だが、そういう切るには、何か心の中にひつかかるも



かかった。それを機会に、この場を離れることにした。

「では、いすれ、また」

しのぶに、もう一度、頭を下げた。そのまま医師のあとを追う。堂本の手術結果や今後のこととを頼んでおかなくてはなるまい。

しのぶが、戸波を追おうとする。しかし、足は半歩しか動かない。

その瞳の奥に、再び涙が燃えはじめた。青い、怒りの涙である。

生田筋の、いかにも大衆的な鍋もの料理の店らしく、店内は活気にあふれていた。

新鮮な鮭をふんだんに入れた石狩鍋が、家庭的な湯気立ちのぼらせている。その湯気の向こうで、石津支局长が細い眼をいつそう細くした。

「そんな、むつかしい顔しとらんと、まあ、飲めよ」

お銚子を戸波にすすめると、自らはコップに威勢よく

燐酒を流しこんだ。

聞いてほしい話がある、と誘つたのは戸波である。時

間外れの晩飯を兼ねよう、と支局長はこの店へ案内した。堂本俊夫の件は、最初から支局長に報告してある。再就職で骨を折つてくれたのも支局長だった。

そして、いま、交通事故にからむ家族の怒りを、かいづまんて説明した。

うむ、うむと、かたい米を一粒ずつ噛みくだくよう

この中年の上司は聞きつけた。感想らしいものは、何ひとつ口にしない。そして、ようやく出てきた言葉は、「まあ、飲めよ」であった。

にがい酒である。

飲みたくない、というのが本心だ。

「支局長、こういう場合、われわれはですね、責任をどの程度とらにやいかんのでしょうか」

早くケリをつけてしまいたい。そんな気持が口に出る

だが、支局長は鍋を突ついていた。戸波の方へ眼をやろうともしない。

「支局長」

「忘れることがやな、君は」

相變らず箸を運びながら、涸れた声を出した。

「忘れるって、堂本のことですか」

「君らはな、いい原稿だけ書けばいい。書いたもんだけが勝負や。それによつて生じたモロモロの出来事は、まあ、おれの縄張りや。まかしてもらおか」

「しかし、こんどの件はですね」

「こんども毎度もありやせんよ。そういうふうに分担ができるところ。そのルールを守ればいい。そういうこつちや」

「じや、うかがいますけど、堂本の事故の件、支局長はどう処理されるつもりですか」

「うむ、まあ、よく考えてみよう」

コップにあふれそな燐酒を、この上司は一気に半分近く飲んだ。そして、はじめて戸波をみつめた。

「おれはなア、時々思うことがあるよ。新聞なんか、なくなつてしまふ方がいいんやないかと」

「なくなる……？」

「たしかに、新聞の果たす役割は大きい。国民の大多数は、新聞がなかつたら、明日から困るやろ。そやけどな新聞のために殺されたり、傷つけられたり、何の落度もないのに社会から葬られた人の数も、バカにならんと思うのや」

「…………」

「具合わわるいことに、そんな場合、たいていは新聞がそれに気付いとらん。むしろ、善意でやつたことが、逆に相手を追いこむ。今度もそうやけど、そんな例は珍しくないのと違うやろか」

支局長の額に、湯気がかかる。それを払いのけるようにして、コップを乾すと、言葉をつづけた。

「二十何年もこの商売やつとると、ふつと過去を振り返りとうなるねん。そんなとき、一番に頭に浮かぶのが、

こんな話ばっかりや」

「しかし、支局長。そんなこと考えていたら、仕事にならんのと違いますか」

「だから、や。どうせ新聞つくるのなら、そういう失点を帳消しにして、なお、おつりのくるよう紙面を——と企画しつづけてきた。例えば、黒い霧キャンペーンや差別問題のシリーズ。今度の兵庫製鉄の公害も、同じ気持からスタートしたもんやといえるな」

それは、新聞の持つ「正義感」と「原罪」のからみを解く、この男の方程式なのだろう。

が、支局長は硬い表情を一瞬のうちに崩した。

「いや、どうも。飲んだら仕事の話はせん、という主義に反する。さ、飲もうや」

戸波の杯に注ぎ、自分も忙しく乾すと、支局長はさら

にコップに酒を満たした。

「や、やっぱりここでしたな」

声がかかる。松岡記者だった。

「松ちゃんか。どうや、堂本は……」

「ええ。手術は終わつたけど、医者の話では、今夜がヤ

マやそうです」

「ヤマつていうと、助かる可能性もあるんやな」

「体力を支える気力といつたかな。とにかく精神的に

すごく強いものを持ってるって、医者は舌を巻いてまし

たね」

支局側の再就職あっせんを断りに来たときの、硬く無

表情な堂本を思い出す。が、それにも増して「なんとか

切り抜けてほしい」という祈りにも似た気持が、戸波を覆つた。

支局長が、のつそりと立ち上がる。

「よし、行こう」

「あ、もう引揚げるんですねか」

「病院へ行くんや。戸波、君は来なくていい」

記事以外のことは、おれにまかせろ、と支局長はいつた。病院行きは、いわばその第一歩なのだろう。

しかし、腕を挙げてそれを見ているわけにはいかない。あの青い煙が燃えさかる病院へ、上司を一人でやるなんて……。

「僕も行きます」

「バカ、君の出る幕じゃない」

押し問答に、松岡が怪訝な表情をみせた。

女店員が寄ってきた。

「毎朝新聞の方ですね。お電話がかかってきますけど……」

「あ、おれだろう」

反射的に支局長が応じる。

店の奥にある電話口へ急ぐ足取りが、心なしか揺れて

いる。

（酔ってるな）

そういえば、飲みっぷりもひどく急ピッチだった。酔うために飲むといった、角度のある酒だった。

電話は意外に時間がかかった。入口に近いレジのところで十分近く待たされた。

もどつて来た支局長の頬に、酔いのいろが引いてしまつて、戸波は気がつく。

「病院へ、行けなくなつた」

聞きとれぬほどの低い声である。

「本社へ、顔を出さにやならん」

「え、いまごろ呼び出しますか。もう九時半ですよ」

直感が戸波を刺す。

「兵庫製鉄のことでしょう」

答えはなかつた。無言であることの持つ重さが、戸波の胸にものしかかってくる。

「相手は誰ですか。地方部長ですか。それとも、編集局長

？」

部下の問い合わせを断ち切るように、支局長は店の外へ出ていた。

（つづく）



# 神戸のうまいもんとドリンク

## ★日本料理

そば吾

神戸市生田区中山手通2丁目3-17  
TEL 242-2858

讃岐名代うどん

あこや亭  
神戸市兵庫区旗塚通7-5 TEL 231-6300  
トアコード店 TEL 391-2538  
兵庫駅前店 TEL 575-5306

和食くれなーい

三宮生田新道浜町中央  
KCBビル2F TEL 331-0494

かっぱう花

神戸市生田区花鳴町45  
TEL 341-0240

鍋もの・おむすび

お茶漬・やはたの悟味  
神戸市生田区北長狭通1の20 TEL 331-3848  
三宮さんちかタウン TEL 391-5319

お茶漬・おむすび

ふる里  
神戸市生田区北長狭通2の1  
TEL 331-5535

たこ焼たちばな

三宮センター街(旧柳蔵) TEL 331-0572

北海道郷土料理

蝦夷  
神戸市生田区中山手通1丁115  
生田区東門筋東門会館ビル1階  
TEL 331-7770

カニ料理

婆娑羅(ばさら)  
神戸市生田区北長狭通1丁目18  
三宮阪急西口北側 レイシボーラザギ 2F  
TEL 321-6363

## ★西洋料理

レストラン

アボロン  
神戸市兵庫区八幡通5丁目6  
TEL 251-3231

レストラン

皮(あらかわ)  
神戸市生田区中山手2-9  
TEL 221-8547・231-3315

GALLERY &  
STEAK HOUSE

SAN-MON 三門  
神戸市生田区中山手通2丁目98/99  
TEL 331-5817

ステーキハウス

れんが亭  
神戸市生田区下山手通2丁目34  
TEL 331-7168

レストラン

セントジョージ  
神戸市生田区北野町1丁目130  
TEL 242-1234

レストラン 男爵

神戸市生田区中山手1-18  
山手第一ビル1F TEL 241-0776

maison de  
la mode 花屋敷

三宮フラワーロード市民所前  
TEL 251-2109

鉄板グリル きやんどる

神戸市生田区北長狭通2-22  
TEL 331-1183

レストラン キングスアームス

神戸市兵庫区磯辺通4-61  
TEL 221-3774

居酒屋風  
れすとらん 井戸のある家

生田新道新世纪南  
TEL 331-5664

レストラン ムーンライト

三宮・生田新道  
TEL 331-9554

串かつ店 和蘭陀屋

三宮相互タクシー北入  
TEL 321-0230

タリル・鉄板焼 月

神戸市生田区北長狭通1-24  
生田神社前 TEL 331-2509

BARBECUE & STEAK 六段

生田区元町通3丁目  
TEL 331-2108

Regent House SOFIA(蘇菲亞)

神戸市生田区中山手通5丁目84  
TEL 341-0658

レストラン ハイウェイ

神戸市生田区下山手2-20  
TEL 331-7622

ピツアハウス ピノッキオ

神戸市生田区中山手2-101  
TEL 331-3545

レストラン フック東店

神戸市生田区栄町1-5-3  
TEL 321-3207

ピザ&スパゲティ ガルの店

兵庫区猪崎町5丁目1-7  
西山ビル1F TEL 241-9025

レストラン ミリオナークラブ

生田区中山手通2丁目50の2  
レストラン 231-9393-5  
メンバーズ 221-1162

ピザ・パブ ピザ・パテオ

神戸市生田区元町通1丁目49(元町1番街)  
TEL 331-9378

club フォーラウエースタジ

神戸市生田区三宮町3丁目22  
TEL 331-3770

RESTAURANT & BAR ゴックスタッド

生田区山本通3丁目18 回教寺院前  
TEL 242-0131

メキシコ料理 ティファーナ

神戸市生田区中山手通1丁目4-12 パールコモラスビリエ  
TEL 242-0043

ドライブ風 音楽レストラン コーベ・ローレライ

生田区北長狭通6丁目39  
TEL 371-0086

★喫茶

宮水のにしむら珈琲店

ゴーヒー中山手店・神戸市生田区中山手通1丁目70  
TEL 221-1872-231-9524

センター街店・神戸市生田区三宮町2丁目35  
TEL 391-0669

北野店・山本通2丁目9 TEL 242-2467  
(会員制) 3F事務所 TEL 242-1880

喫茶・レストラン バローン

神戸三宮サンプラザ地下 TEL 391-1758  
トアコード店 TEL 391-1210

喫茶 ガーディニア

神戸市生田区東町113-1 大津ビル1F  
TEL 321-5114

珈琲 モーツアルト

神戸市生田区山本通2丁目98グランドマンション1F  
TEL 241-3961

ティー&スナック サボテン

神戸市生田区中山手通1丁目  
(神戸女子短大前) TEL 241-7060

★club

チラブ 千

神戸市生田区下山手通12丁目21  
TEL 391-1077

club 飛鳥

神戸市生田区中山手1丁目117  
TEL 231-7627

club 小万

神戸市生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638-4386

club さち

神戸市生田区中山手通2丁目75  
TEL 331-7120

club なぎさ

神戸市生田区北長狭通2丁目 TEL 331-8626

club 薙(ふき)

神戸市生田区下山手通2丁目 TEL 391-1515

club ぶーげん

神戸市生田区新道浜町中央KCBビル5F  
TEL 331-8593

club Moon Light

BAR TEL 331-0886-391-2696  
Club TEL 331-0-15-57

クラブ ふるふらん

神戸市生田区北長狭通1丁目53 TEL 331-2854

★STAND & SNACK

ドリンク&レースタジ  
神戸市生田区中山手通2丁目101 大津ビル2F  
TEL 321-5677

スタンド 英国屋

生田区下山手通2-6 相互タクシー横  
TEL 331-1100-331-6600

洋酒ハウス 雜貨屋

生田区下山手通2丁目8の6  
(生田新道相互タクシー横上) TEL 321-0260

スタンド グラムール

生田新道ビル地階 TEL 331-4637

SNACK MATSUMOTO

神戸市生田区中山手通1丁目32-3  
曾根ビル1F TEL 241-5470

カクテルラウンジ サヴォイ

高架山側 チネの店北  
TEL 331-2615

スタンド 晴海(Sei-kai)

生田区北長狭通2-141  
TEL 321-2250

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス

神戸市生田区下山手通1丁目32  
PHONE 078-241-7320

スナック ビジービー

神戸市生田区中山手2丁目  
TEL 391-4582

club エルソタノ

神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

club 山莊

神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823

club 紋

神戸市生田区北長狭通1丁目41-1 レンガ路  
TEL 331-8858

オープン 神戸時代

生田区中山手通1丁目28  
シェットウコトアキビル TEL 242-3567

スタンド クルミ

生田区中山手通1の72  
TEL 331-6985

洋酒の店 キヤンティ

神戸市生田区北長狭通2丁目3  
TEL 391-3060-391-3010

DRINK SNACK

スネカリツ子  
神戸市生田区下山手通2丁目  
水晃ビルB1 TEL 391-8708

Stand&Snack

サントノーレ  
生田区下山手通2丁目トア・ロード  
TEL 391-3822

Salon de roulette  
パンドラ

サントノーレ  
神戸市生田区中山手通1丁目24-7  
ダイワナイトプラザ6F TEL 241-1710-221-3886

素香洞でつさん

神戸市生田区北長狭通1丁目258  
TEL 331-6728

STAND マシュケナダ

生田区下山手通2丁目ちいなタウ干地  
TEL 331-5587

スナック

GASTRO  
神戸市生田区中山手通3-20  
トーアマシターン TEL 231-0723

クラブ・ガーデニア

神戸市生田区中山手通1丁目115  
東門町チネビル2F TEL 391-8329

ティー&パブハウス

バスチャーリントン  
生田区北長狭通2丁目 (トアロード)  
TEL 332-1125

スナック

比奈古多  
神戸市生田区北野町1丁目143  
Tel. 241-1306

サロンアルバトロス

生田区中山手通り1丁目24の7  
大和ナイトプラザ2F-B TEL (231) 3300

スナック

エルソタノ  
神戸市生田区下山手通 TEL 331-6620

club

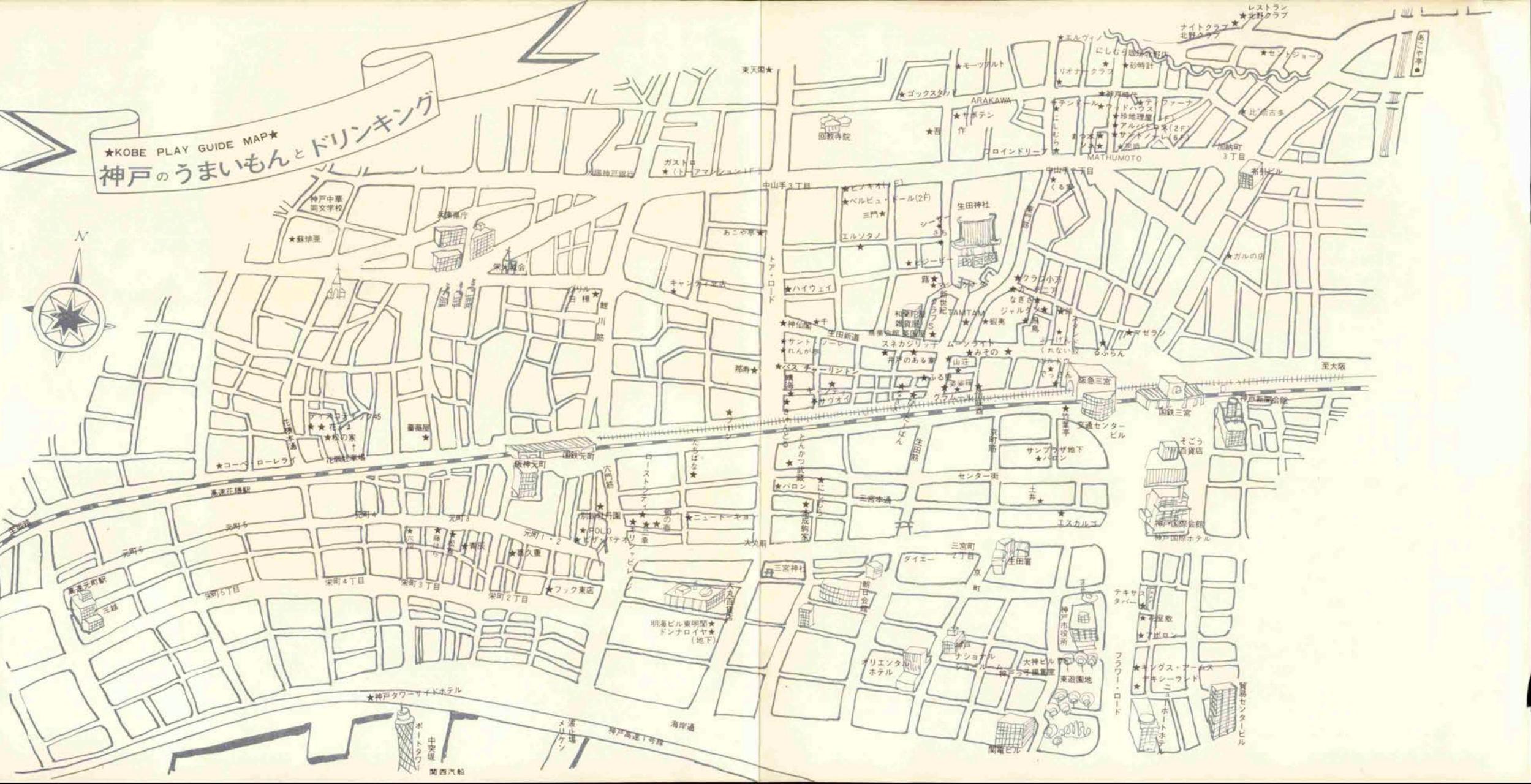
山莊

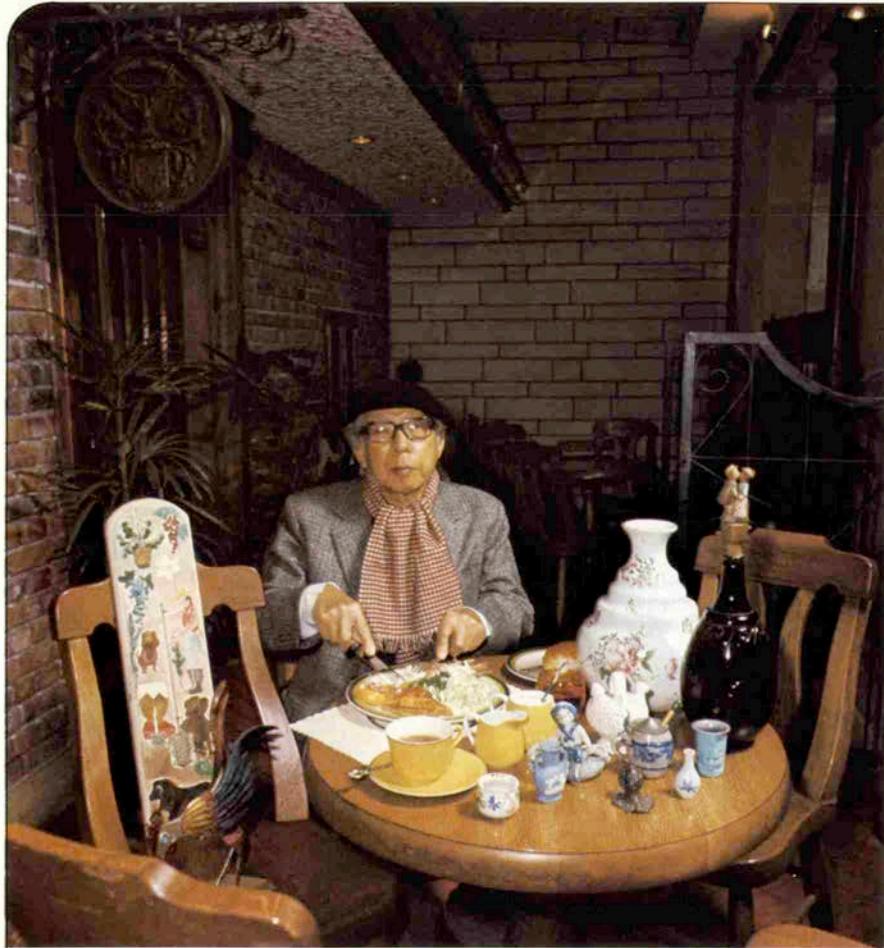
神戸市生田区北長狭通1丁目22  
TEL 391-5823

★KOBE PLAY GUIDE MAP★  
神戸のうまいもん

★KOBE PLAY GUIDE MAP★  
神戸のうまいもん

## 神戸のうまいもん





# baLOn antique series

## XXV 花瓶

十河 巍

〈洋画家〉

「ぼくが花瓶を集めるようになったのは、庭に花をいっぱい作っていて、生けるために買ったたり友人からもらったりして、朝日新聞の記者時代からだからもう30年ぐらいになりますね。これはフランスの十四世紀頃のエナメルうわぐりの花瓶で、ブラジルの移民の父といわれた神足船長から譲りうけたものです。キリンビールの初期の瓶はこんなに立派だったんですよ。また、この小さな花瓶たちは、古いのは宋代、唐代のものや、李朝のものなどいろいろあるけど可愛いいね。このバロンのテラスでランチタイムをすごしていると、パリの朝を思いだすよ」

サンプラザ 〈バロン〉にて  
カメラ／森田 純一



# バロシ

★英國風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店  
TEL 391-1758 AM11:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店  
TEL 391-1210 AM10:00~PM 9:00迄

★コーヒーショップ センター街店  
TEL 391-1375 AM10:00~PM 9:00迄

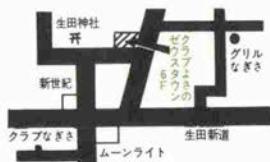
やさしく豊かな  
クラブ  
《よさの》の  
ひととき...を。



クラブ ナギサ

三宮・生田神社前 ゼウスピル6F

TEL. 391-5838・8706



姉妹店 **なぎさ**

クラブ

神戸市生田区北長狭通2の1 TEL. 331-8626・321-1210

**GRILL & BAR**

神戸市生田区中山手通1の1 TEL. 331-3670



いきいきとはなやかな  
神戸の酒徒の出会いの場<club小万>



CLUB  
**小万**

岩本 起代子  
生田区東門筋中島ビル3F  
TEL 391-0638, 4386



# 神戸の新名所 海鮮料理の店



田宮二郎です！  
神戸の人は幸せだなあーとおもいます。  
本場の中国料理、広東風海鮮料理を  
食べさせてくれる店“海皇”ができましたね。  
海皇の主人瀧君は僕の昔からの友人で、  
ほんとうにおいしい料理を、  
つくってくれるのです。  
ぜひいってやってくれませんか！

神戸三宮駅から歩いて7分。「海皇」は山手幹線に面した大西ビルにあります。眼下にすばらしい神戸の全景が広がる高層レストラン。8階は結婚式場、9階は中国酒をそろえたお食事処、そして10階は宴会場となっています。中国の宮廷をしのばせる華麗なインテリア。ご家族そろっての団樂に、お客様のおもてなしに、ゆっくりくつろげる雰囲気です。

中国広東風海鮮料理  
海鮮酒家

# 海皇

HAI WHAN

■651 神戸市兵庫区二宮町3丁目12  
大西ビル 7階(事務所)・8階  
9階(フロント)・10階・11階  
●営業時間 午前11時～午後2時  
午後5時～午後9時



## 四季おりおりの 旬の味覚を存分に……

“婆娑羅”は カニ料理を中心に  
四季おりおりの旬の味覚を存分に  
ご賞味いただけ和風レストラン…  
ご商談・ご宴会・ご家族連れまで  
あらゆる集いに ご利用ください



季節料理  
**婆娑羅**  
ばさら

神戸・三宮阪急西口北側レインボーブラザ1-2F  
☎(078)321-6363



かずかずの海の恵みが  
味わえる季節……  
なかでも  
日本海のカニの味覚こそ  
その王者といえましょう。

かに料理の店

カクテルサルーン

# Mermaid

は  
神戸のオアシス!

貨物船ムード!

ゴージャスな雰囲気!!

各種洋酒、その他料理も多くとり  
そろえて信じられない程安い価格  
でお楽しみいただけます。

▲メンバーボトルも御利用下さい。



カクテルサルーン

# マーメイド

神戸・三宮阪急西口北側 レインボーブラザ地下 ☎ (078) 331-7660 営業時間=PM 5:00—PM 11:30



## 比東古多

生田区北野町六甲莊下

リーハイムマンション1F

☎ 241-1306

## 山崎

生田区中山手通1丁目

前川ビル1F

☎ 391-3335



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32

## WOODHOUSE

山内ビル

☎ 241-7320

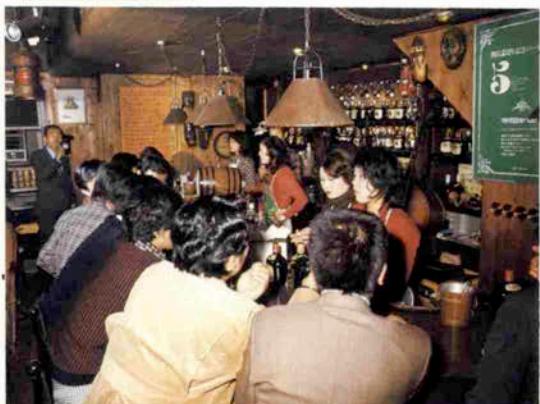
### KOBE DRINKING GUIDE

## Stand & Snack

## 山莊

生田区北長狭通1丁目22

☎ 391-5823



★“比奈古多”と書いてピナコタと読む。変った名前だが、神戸っ子には染じみの深い“蛸の壺”的姉妹店だ。店内には“蛸のおじさん”木村さんが永年かかって集めたそばちよこが600種類も飾られている。マニアならざとも一つ一つ見ていると飽きることはない。店の装飾も骨董美術品にマッチした格調のあるもの。といっても老人趣味というのじゃない。何しろ店のスタッフは木村のみみちゃんをはじめ発刺たる若者が多い。変にきどったところがなく、それでいて、シャレているのが“比奈古多”なのだ。1月16日からランチも始めている。

☆シチュー￥600 鍋やきうどん￥500 ぞうすい￥500 コロッケ(1人前)

￥500 カオヤーズ(中国風タコス)￥300 水割￥450 ビール￥300

フィズ￥500 日本酒￥400

11：30A.M.～1：30P.M.(ランチタイム) 5：30P.M.～0：00A.M.

水曜日休み



ピナコタ



ヤマサキ

## KOBE DRINKING GUIDE

★赤と白のコントラストがひときわ目立つプロ野球顔負けのベルトレスユニフォーム。今、関西草野球界でうわさの“ウッドハウス”野球部一同の勢ぞろいです。間もなくスプリングキャンプに入りますが、ハワイにしょうか、グアムにしょうか悩んだ末、例年通り神大グラウンドを無断借用してトレーニング開始です。今年は大物のトレードもなく、昨年同様のスタッフでV1目指して頑張ります。“ウッドハウス”チームは「参加することに意義がある」がモットーです。

試合相手募集中！ 日曜祭日ならいつでもします。

☆昼(11：30A.M.～7：00P.M.)コーヒー￥150 紅茶￥150 ビラフ￥250

サービスランチ￥300 夜(7：00P.M.～4：30A.M.)ビール(小)￥300

水割り(OLD)￥400 フィズ￥500 おつまみ￥100 平日11：30A.M.～

4：30A.M. 日曜5：00P.M.～0：00A.M. 第1・3日曜日休み

## ウッドハウス



## サンソウ



### ドキッとするハブニングのある店

“山荘”的哲学はお客さまと一緒に楽しく一緒に遊ぼうということ。店は20代、30代のホワイトカラーのたまり場。底抜けに明るく、リラックスした雰囲気は“山荘”ならではのもの。掛け値なしに神戸独特のムードがピッタリの店なのです。マスターの上松さんは、これまた独特的個性をもったひと。お客さまを楽しませる才能は天下一品！ ワイワイガヤガヤ……。賑やかななかにドキッとするハブニングも充満しているのです。ホラ、ムンムンする熱気のなかから何かが起こりそうですよ。

☆パーティー・コンパ・クラス会などにもご利用下さい。

6：00P.M.～2：00A.M.

★本当の食通の人は、生半可な味では納得できず、満足の行く味に出会うまで捗し続けるものです。そんな人でも、ステーキハウス“山崎”的味には、成程とうなづかれています。味が一番大切ですが、落ち着いた雰囲気も“山崎”にはあります。取り揃えているワインを楽しみながらゆっくりと食事ができます。また、あらかじめ予約をしておくと奥のボックス席が利用できます。三十名様ほどのパーティーなどにも最適です。また、カキなど季節の料理もあります。家族づれ、友人同士、グループなどの会合にぜひご利用下さい。

☆最上級神戸肉ステーキ￥5,000 サーロインステーキ￥3,000 テンダーロインステーキ￥3,000 車海老のバター焼き、アワビのバター焼き、ビール￥300 ポトル(OLD)￥5,000 ポトル(ホワイトホース)、ポトル(カティサーク)各￥7,000

5：00P.M.～2：00A.M. 日曜日休み